

映像作品について

映画タイトル「On Line Friend」(仮) 作品情報 完成尺 75分 カラー

作品 ステレオ ドラマ作品撮影日程 2014年8月-9月

完成、上映または発表予定時期 2015年3月15日 16:30,19:00

上映および発表予定 名古屋109シネマズ上映ほか 国内外映画祭への出品を予定。またDVDまたはBlu-rayにて全国発売予定(東映教育映像より)



企画意図など

若者のインターネット(携帯電話)依存症、バカッター(SNSなどで馬鹿なことや人の迷惑を考えない内容を投稿すること)パソコンや携帯電話における「オンラインとオフラインの関係」や、そのことに由来する(あるいは影響される)人間関係や社会の歪みを問題提起する。また、家族の問題や学校の人間関係、バーチャルなネット世界での性格の変化や関係性や、生命のないマネキン人形の世界などを擬人化し状況設定して現代の問題を考えていく。

あらすじ

アンナはいつも嘘の(あるいは見栄を張った)SNSを更新してみんなの響き(ひんしゅく)をかっている。急逝した母に対する喪失感や寂しさからそのような行動(ネット依存)をとっていると考えられる。また、家庭では、父親や姉ともうまく行っていない。一方、クラスメイトの加藤宏は用品店の一人息子。ある日、店主の父から古くなったマネキンを捨ててくるように言われる。アンナは偶然、そのゴミ置場で捨てられたマネキンを拾って自分の服を着せ、「友人」としてSNSに登場させるようになる。皆に嫌われるアンナだが、加藤だけはアンナのことを気にかけてくれている。しかし、アンナはオタク風の加藤のことが嫌いで逆に彼の親切心を利用したりしている。そんなとき、アンナは取り壊し予定の旧校舎で幽霊を見たというSNS日記をアップした。クラスメイトの「ともとおおい」はそれを嘘だと言い、ことの真偽を確かめようということになる。アンナはそれを知り、自分が幽霊に成り済まし2人を驚かす。しかし、そこで自分が連れて行ったマネキンが喋りだし驚く。アンナとマネキンのリンは嘘日記を更新しながら徐々に友情を感じ始める。しかし「あおいとも」は腹いせにリンを攫って壊してしまう。同じ頃、アンナが反発を感じていた父が急に病で倒れてしまう。アンナはオンラインの世界に生きるもう一人の自分「オンライン(デジタル)アンナ」に出会って会話を始める。(つづく)



映画シリーズ

名古屋市立大学芸術工学部映像研究室では2008年頃から映画制作をシリーズ化している。2010年には改造車が走り回る学生映画「Blue Sky Days」を制作。名古屋の一般の映画館シネマスコアにて劇場公開、2011年にはAKB48のメンバーも出演する「Angel」を制作し名古屋パルコのセンチュリーシネマにて劇場公開。関西や東北からの観客もあり満員御礼立ち見も出て一部入場制

限した。東京下北沢でアンコール上映会を行った。2013年はアダルトチルドレン症候群について描いた作品「インナーチャイルド」を伏見のミリオン座で2013年3月3日に上映。NHKやFM Aichiでもとりあげられ、補助席や立ち見を含む140名以上の集客をした。2014年3月名古屋ミッドランドスクエアシネマスクリーン1にて「女の子ごっこ」(前出写真)公開し350席満席予約頂きキャンセル待ちが数十名あった。2014年2月東映より「インナーチャイルド」「Angel」東映より同時全国発売。2015年3月15日に「ONLINE FRIEND」名古屋109シネマズで公開。

出演者



伊藤真帆

渡辺清華

今井雅之 (特別出演)

尾中琴美

その他の出演/協力 オスカープロモーション、ゴールデンゲース、小館友紀、劇団あおきりみかん、名古屋市立工芸高校演劇部のみなさんほか 協力 なごやロケーションナビ、大正村、名古屋市工芸高校ほか、監修予定 名古屋市立大学医学部 竹内先生 (以上予定、敬称略)

研究室ウェブサイト <http://www.sda.nagoya-cu.ac.jp/ykurihar/profile>